

	<p>区内産のブルーベリー、キャベツなどを使った商品を新規認定！ 「ねりコレ」新たに11品が仲間入り！</p>
<p>と き</p>	<p>練馬まつり(10/20 開催)から、リーフレット配布開始</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬区観光案内所(練馬駅地下1階)、区民事務所、出張所などで配布</p>
<p>練馬区観光協会は、練馬区にちなんだ商品「ねりコレ」として、今年新たに認定された11商品を発表した。</p> <p>今年は区内産の農産物に関連する商品が多く、練馬区内産のブルーベリーを使ったマドレーヌなどの焼き菓子、イチゴを使ったアイスや発泡酒、武蔵大学の屋上で採取したはちみつを使ったカステラ、都内ナンバーワンの生産量を誇る練馬産キャベツを使ったロールキャベツや契約農家で栽培された野菜を使ったサラダなどが認定された。</p> <p>同協会では、昨年までに認定された商品と合わせて全102商品をまとめたリーフレットを、10月20日(日)に開催される区内最大のイベントである練馬まつりで配布するほか、翌21日(月)から練馬区観光案内所(練馬駅地下1階)や区役所などで配布する。</p> <p>担当者は『「ねりコレ」は、観光や帰省のお土産、ご自宅用や大切な方への贈り物として好評です。リーフレットを活用して、是非、『ねりコレ』をお買い求めください。』と話している。</p>	



【ねりコレとは？】

練馬区にちなんだ商品の愛称で、「ねりまコレクション」「ねりまといえばコレ」を略したものであり、区の地名や風物などを反映した、**区をイメージできる商品のこと。**

平成15年度から事業を開始し、今年度が11回目の募集となった。回を重ねるごとに知名度が増し、区内外を問わず、多くの人から好評を得ている。

今年度は、6月1日から30日まで募集し、17品の応募があった。選考は、食文化史研究家で総合長寿食研究所所長の永山 久夫(ながやまひさお)氏、『散歩の達人 MOOK』編集長の山口 昌彦(やまぐちまさひこ)氏など、5名の選考委員によって行われた。

認定基準の①区にちなんでいるか ②オリジナリティ ③デザイン ④味や品質 ⑤購買意欲がわくか、の5つの視点から審査した。



【観光ガイドブックとしても使えるリーフレット】

リーフレットには、商品に関連した区の観光スポットや地図も載っており、練馬区の観光ガイドブックとしても活用できるものとなっている。リーフレットは、10月20日(日)の練馬まつりで配布するほか、翌21日(月)より練馬区観光案内所(練馬駅地下1階)や区役所などで配布している。

また、観光協会ホームページでも「ねりコレ」商品を紹介している。

URL : <http://www.nerima-kanko.jp/nericore/>